

平成 27 年度地域・世代を
超えた体験学習事業



あれこれ体験

in

片浦



ふいかえいの書

夏休み
とっておきの



地域・世代を超えた体験学習事業「あれこれ体験 in 片浦」日程表

時間	1日目	2日目	3日目	時間		
6:00		テント泊	テント泊	6:00		
6:30				6:30		
7:00		朝のつどい	朝のつどい	7:00		
7:30		朝食	朝食	7:30		
8:00	集合(小田原駅)	ひと工夫でアツアツ、カートドッグ	バーナーとコッフェルで調理 豚汁とご飯	8:00		
8:30	移動(JR)			8:30		
9:00	到着・準備	オリエンテーション ウォークラリー編	掃除	9:00		
9:30	開会式(旧片浦中)	体験型ウォークラリー		9:30		
10:00	アイスブレイク (足柄グリーンサセス) (おだわら自然楽校)	シュノーケリング コース 旧片浦中学校	乗馬 コース 旧片浦中学校	マスのつかみ取り コース 旧片浦中学校	ヒルトンサービング コース 旧片浦中学校	ふりかえり 活動報告作成・発表 集合写真撮影
10:30		徒歩にて移動	車にて移動	徒歩にて移動	徒歩にて移動	
11:00		なみのこ村着	サドルバック着	白糸マス釣りセンター着	お山のたいしょう着	閉会式(旧片浦中)
11:30	昼食 持参弁当	昼食 【バーベキュー】	昼食 【流しラーメン】	<マスのつかみ取り> 川遊び 昼食 【バーベキュー】	<ジャム作り体験> 昼食 【バーベキュー】	移動(JR)
12:00	オリエンテーション コンポスト編	徒歩にて移動 ダイビングセンター着	<乗馬体験> 放牧 草むしり 農作業 馬房清掃 馬の世話 乗馬	白糸マス釣りセンター 車にて移動 広石農園着	お山のたいしょう 徒歩にて移動	解散(小田原駅)
12:30	オリエンテーション テント編					
13:00	グループビルディング (足柄グリーンサセス) (おだわら自然楽校)	<シュノーケル体験>		白糸マス釣りセンター 車にて移動 広石農園着	お山のたいしょう 徒歩にて移動	
13:30				<フルーベリ-摘み>	ヒルトン着	
14:00				車にて移動 お山のたいしょう着	入浴 研修準備	
14:30		ダイビングセンター 徒歩にて移動		<ジャム作り体験>		
15:00		根府川駅 シャトルバスにて移動	サドルバック 車にて移動	お山のたいしょう 徒歩にて移動	<就業研修>	
15:30		ヒルトン着	ヒルトン着	ヒルトン着		
16:00	班長会議 つどい係会議・テント長会議					
16:30	自由時間		入浴 自由時間		夕食 【ヒルトンディナー】	
17:00	夕食 ぶた井・たつぶり野菜のポトフ				受入準備	
17:30			夕食 【ヒルトンディナー】		<サービング体験>	
18:00	夜のプログラムⅠ キャンプファイヤー編	シャトルバスにて根府川駅へ移動			研修ふりかえり ヒルトン	
18:30		徒歩にて旧片浦中学校着			根府川駅 旧片浦中学校着	
19:00	ふりかえり	ふりかえり・自由時間				
19:30	夜のプログラムⅡ 水浴び編					
20:00						
20:30						
21:00	夜のプログラムⅢ たき火編					
21:30						
22:00	就寝準備・消灯・テント泊	就寝準備・消灯・テント泊				



CONTENTS

Vol.06 Summer 15
Happy Summer in Kataura Odawara



- 02 1 日目
出会い → はじまり
- 04 2 日目
体験型ウォークラリー
- 08 3 日目
ふりかえり
- 12 参加者の声・指導者との思い出

保護者の声
- 13 おでかけ MAP

表紙
旧片浦中学校グラウンド

仲間と過ごした特設のテント村。よりダイナミックにより自然にと今年も26張りのテントと4つのタープで過ごしました。

はじめに

今年度の「あれこれ体験 in 片浦」も、盛況のなか無事に終える事ができました。これも、ご参加いただいた皆さま、関係者の皆さまの協力のおかげだと思います。本当にありがとうございました。

皆さんと過ごした思い出の3日間を写真と文章でまとめた「ふりかえりの書」を作成いたしました。小田原ならではの緑豊かな山、水清らかな川や海、温暖な気候の中で自然体験、社会体験そして生活体験を通して自分らしさを発揮していたと感じます。学校や世代を超えた人たちと共に歩んだ夏のひととき、ふるさとを愛する心も一緒に深められたと思います。

将来を担う参加者の皆さんには、この「ふりかえりの書」を開き、片浦地区で過ごしたあれこれを思い出していただき、多彩なプログラムを経験した中で「創造力や自立心」「豊かな人間性」「生きる力」を体得した子どもとして、ひとまわり逞しく成長してもらえることを願っております。



平成27年10月

地域・世代を超えた体験学習実行委員会
実行委員長 瀬戸 正功



この日が来るまで楽しみにしていた子、不安に思っていた子、二泊三日のあれこれ体験の始まります。

小田原駅に集約して、電車に乗って根府川駅からぼくたちのフィールドへ。重たい荷物を持って急な坂道を上ります。広い海に青い空、濃い緑に囲まれる片浦地域で、とびきりの夏の3日間、『あれこれ体験 in 片浦』のスタートです。



「あれこれ体験 in 片浦」 【概要】

趣 旨：小田原（片浦地域）の自然や資産、生業などを活用し、参加者（子ども）と指導者（大人）との世代を超えた交流を通し、子どもたちの創造力や自立心、豊かな人間性、生きる力を育むことを目的とする。

実施日：①平成 27 年 7 月 31 日（金）～8 月 2 日（日）
②平成 27 年 8 月 8 日（土）～8 月 10 日（月）

実施主体：主催）小田原市 主管）地域・世代を超えた体験学習実行委員会

場 所：旧片浦中学校、及び片浦地域

宿 泊：旧片浦中学校グラウンドにてテント泊

参加人数：①参加者（小学 5・6 年生） 48 名

指導者（おだわら自然楽校）20 名

②参加者（小学 5・6 年生） 48 名

指導者（おだわら自然楽校）19 名



開会式のひと場面。一緒に活動する指導者を決める抽選です。みんななどの指導者と班になるのか大注目です。



活動の拠点となる旧片浦中学校へは、徒歩移動となります。みんな大きな荷物を持っているので、大変ですがこれも体験です。



小田原駅に集合したら、3日間一緒に活動する仲間と電車に乗って移動します。みんなまだまだ緊張した顔でさこちなく会話もあまり多くありません。



緊張状態（アイス）をほぐす（ブレイク）ゲーム！



コンポスト

日常生活で出る生ごみ。ただ捨てるのではなく、肥料にもなります。この3日間の活動で出る生ごみは、特設のコンポストで全て堆肥化します。



真剣に取り組むからこそ感じる「チーム」

「本気で、みんなで、安全に、話す、聞く」与えられた課題にチーム全員で挑みます。

作成する「Being」がチームの絆をさらにギュッと深めていきます。

火の女神様登場！！

みんなで火の女神様を呼び、キャンプファイヤーの炎をもらいます。班ごとに練習したスタンツをお披露目。指導者も得意なスタンツで盛り上げます。静かな片浦の夜に、賑やかな声が響き渡ります。

キャンプファイヤーでは、各班の子どもたちがみんなの前でリードするスタンツと、指導者がみんなをリードするスタンツを組み合わせたプログラムで進行します。

指導者と相談しながら、今日出会ったばかりの友だちと班のスタンツを決め、この時間までに練習しました。



『できたーっ！！』が集合の合図だよ！

夕食までの自由時間、キャンプファイヤーのスタンツ練習。いっぱい動いてお腹ぺこぺこ。今日のメニューは腕利きの指導者シェフが美味しく調理した、じっくり煮込んだ『ぶた丼』と、野菜たっぷり『ポトフ』。みんなで食べるって楽しいね。



楽しかった1日もそろそろ終わりの時間。班ごとに今日のふりかえりをして就寝準備。今夜はお風呂に入れないので、汗を流したければこちらにどうぞ。こんな夜更けの水遊び。汗を流すだけだったはずが…。



運動場脇の伐採された丸太を並べて、大きなブルーシートを被せれば手作りプールの完成です。お風呂に入れない環境をどうにか解決しようと考えました。今日1日でかいたたくさんの汗を楽しく洗い流しました。





慣れないテントでの就寝、
 楽しい仲間との夜。ドキドキ
 してあまりよく眠れなかつ
 たけど、海に輝く太陽が、眠
 気を全部吹き飛ばしてくれ
 ました。こんなにきれいな朝
 日が小田原でも見ることが
 できるんだ。
 ここは、ぼくたちの暮らし
 同じ小田原だけど、いつもの
 小田原とは少し違う。だって
 ここは、「仲間」がいるぼく
 たちのフィールドだもん。
 今日は、どんなに楽しいこ
 とが待っているんだろう。



**自分の朝食、
自分で作る！**

持ち物にあった牛乳パッ
 クは、朝食で使用します。
 アツアツのカードドッ
 クはうまくできたかな。



朝のつどい！みんなでラジオ体操

夜更けを過ぎてようやく寝静まったと思っ
 たら、ザッザッザッザッとテントの外を歩
 く音…。みんなちゃんと寝たのかな？朝は
 体育館でつどい係さんを中心に『ラジオ体
 操』。「いっつう、ぬう、さん、すうっ♪」、
 東北弁バージョンのラジオ体操です。



今日の体験コースが決まったら、班ご
 とに分かれ、荷物の準備をして、いよ
 いよ体験型ウォークラリーへ出発で
 す。





【マスのつかみ取り体験

&ブルーベリー摘み取り・ジャム作り体験】

夏の清らかな白糸川に元気な声が響きます。

生きた魚を前になかなか捕まえない子もいれば、川に潜って探す子も。捕まえたマスはその場で塩焼きにして、みんなで美味しくいただきます。生きとし生けるものを食す、これもまたあれこれ体験。

マスを食べたらお次はスイーツ。ブルーベリー畑で甘くて大きな実を味見しながら摘み取ります。たくさん取ったら、今度は摘みたての実を使ってジャム作り。砂糖を入れて焦げないようにみんなで混ぜながら煮込みます。煮詰まったら、早採りみかんの果汁を搾って、自分で作ったラベルを貼って、ビンにつめたら完成です。



【シュノーケリング体験】

片浦のチェックポイント、「寺山神社」「豆相人車鉄道」「根府川関所跡」「白糸川鉄橋」「釈迦堂」を抜け出ると、目の前に広がるのは相模湾。ウェットスーツに身を包み、波寄せる中を、勇気を出して一歩一歩と踏み出すと、そこは見たことのない、まるで空を飛んでいるかのような別世界。いっぱい飲んだ海の味も、あれこれ体験。波が高くて入れなかった2回目の班はヒルトンへ・・・。





【乗馬体験】

たくさんの馬がこっちを見る。想像以上の大きさにびっくり。他にもいろいろな動物がいます。小屋の掃除にブラッシング。ビクビクしながら馬のお世話。暑い中の体験ですが、みんなで一生懸命行います。お昼ごはんは、青空の下で、『流しラーメン』。ぎこちない箸使いにもすぐ慣れて、上手にすくってお腹いっぱい。馬との信頼関係が築けたら、いよいよ最後は乗馬体験。もう馬ともすっかりいい仲間！



【ジャム作り体験

&サービング体験（就業体験）】

用意してきたブルーベリーを使ってジャム作り。作り方を教わって協力して作っていきます。お昼は、原木栽培で育ったシイタケのバーベキュー。「キノコは苦手」と思っていたけどおいしくいただきました。できあがったジャムをお土産に、向かうはヒルトン。こんな早くにゴールかと思ったら、待っていたのはサービング研修。ヒルトンスタッフも受講するスペシャル研修プログラム。プロのホテルマンから接客の極意を伝授してもらい、仲間への最高のおもてなしへと挑みます。働くって大変だ。仲間のお腹を満たしたら、研修受講の証として『修了証』が授与されました。将来有望、小さなヒルトンスタッフの誕生で





**あれこれだからできる体験！
ヒルトンでのスパ&ディナー!!**

それぞれのコースで過ごした1日のゴールは『ヒルトン小田原』。みんなでお風呂に入った後、準備が整ったら夕食会場へ。サービング研修のグループは、いよいよ成果発表。仲間が仲間を「お・も・て・な・し」する時間のスタートです。

家ではできない体験盛りだくさん。

それが、あれこれ体験！

今日もたくさん頑張った。びしょりとかいた汗は、
広くてきれいなお風呂で流します。

今日の夕食は一流シェフの作ったカレーディナー。仲間がドリンクや料理を手際よく運んできます。一生懸命に働く姿がかっこいい。最後は大きな拍手で称えます。



仲間の手形で囲まれた世界に一つしかない、このメンバーでしか作れない『Being』。みんながいたからがんばれた。

**1日の活動を通して
指導者もふりかえりタイム。**

子どもたちの就寝後、子どもたちのチームが良くなるために、さらにより良き明日となるようにと、毎夜指導者もふりかえりを行っています。この3日間は、指導者にとって実践研修の場でもあります。あれこれたくさんの実践経験をあれこれ重ね、指導者も指導者として、子どもたちと共に成長していきます。



**出し惜しみは無し！
自分の考え、意見を書く！！**

班のみんなと今日のあれこれあった1日をふりかえります。みんなで協力できたこと、活動してよかったこと、残念だったこと、もっとこうすればよかったこと。眠い目を擦りながら、さらにチームが良くなるためにと考え、『Being』に書き加えます。少しずつですが、子どもたちの成長が見て取れる大切な時間です。





まだまだあるよ、
あれもこれもあるよ、
最後まであれこれ！

3日目の朝、昨日までの疲れ
なのか、みんな朝までぐっすり
…。あまりにもぐっすりと眠っ
たから、寝ぼけ眼でキョロキョ
ロと…。「(´Д｀)」
「大丈夫。みんないるよ。」
このフィールドで過ごす最
後の朝は、静かに始まりまし
た。最後のプログラム、班のみ
んなで仕上げる『3日間』。あ
れもやったよ、これもやった
よ、いっぱいやったよ、すこい
でしょ、『あれこれ体験』！

毎日が少しずつ違う
それが“Happy”！！

← 同じような日の出だけど、全てが
同じじゃない。その時その瞬間の
全てが宝物。みんなと一緒に迎え
た朝はとーっても“Happy”！！



みんなで過ごす最後の朝

2泊3日の最後の朝、今日が最終日です。
もう帰るのか、やっと帰れる、まだ帰りた
くない。いろいろな思いの3日目の朝も朝
のつどいからスタート。今日も元気に活動
しよう！！



お世話になったフィールドにありがとう！

← 3日間お世話になった施設の清掃です。班ごとに責任も
って担当します。一人では時間がかかりますが、チーム
ワークよく、みんなでやればあっという間にピカピカで



豚汁作り！

シングルバーナーとコッフェルを使っ
て、自分で豚汁を作ります。
道具の使い方を指導者に教わりながら、
具材と出汁、味噌を入れて自分好みに作
っていきます。
ご飯は指導者が鍋を使っておいしく炊い
てくれたので、自分でよそって食べます。





3日間の総仕上げ！

楽しかった3日間もうすぐ終わり。この3日間で経験したあれこれ体験、たくさんの時間を班のみんなとふりかえり。
班ごとにまとめた個性豊かなパネルを使って、「ぼくたちの班はね…」「…、私たちすごいでしょ！」と1班ずつ発表します。



みんな、またね！！
もしも小田原のどこかで出会ったら、遠慮しないで『キャンプネーム』で呼んで



お家に帰るまでが「あれこれ体験」です！
3日間の思い出はどうだったでしょうか。
みんなにとって、よい夏の思い出になったでしょうか。家に帰って楽しい話を家族としてもらえると、うれしいです。



仲間と一緒に最後の時間！

みんなで活動するのは閉会式のここまで。連絡先を交換したり、住所を聞いて手紙を書く約束をしたり、指導者の名札を記念にもらったり…。最後は子どもたちから一緒に活動した指導者に「ありがとう」をくれました。



みんなと過ごしたHappyな時間をずっと忘れないでね！
出会った仲間と過ごした3日間、いかがでしたか。
あれもこれも数えきれない体験で得たものが、この夏のたくさんの思い出が、これから訪れるたくさんの出会いの扉や、立ちほだかる壁の扉を開くための『心の鍵』となることを願っています。
3日間で見せてもらったみんなの「本気」を忘れません。ここで出会った「仲間」のことを忘れないでね。また会えるといいね！
指導者一同





参加者の思い出(参加者アンケートより抜粋)

★ 参加するまでの間、正直どういう気持ちでしたか？

- 1: わくわく楽しみ 55%
- 2: ちょっと緊張 30%
- 3: すごく緊張 4%
- 4: 不安 9%
- 5: 行きたくない 2%

★ 頑張ったことは何ですか？

- 移動、坂道を歩いたこと
- 朝食を作ったこと
- キャンプファイヤー
- 報告づくり
- 友達づくり
- アイスブレイク
- 掃除、片付け
- 暑さに耐えたこと
- ウォークラリー
- 全部

★ テント泊はどうでしたか？

- 暑かった
- 広かった
- ワクワクした
- 楽しかった
- 狭かった
- 秘密基地みたいで楽しかった
- 友達といっぱい話せて良かった
- なかなか眠れなかった
- 寝袋が楽しかった
- 暗くて不便だった

★ 思い出に残っていることは何ですか？

- 友達がたくさんできたこと
- キャンプファイヤーのスタンプを頑張ったこと
- 初めてジャムを作ったこと
- ヒルトンのプールに入ったこと
- みんなでご飯を食べたこと
- ヒルトンで食事をしたこと
- ナマコやウニを触れて楽しかった
- 馬に乗って操作するのが難しかった
- マスがぬるぬるして捕まえにくかった
- きのこのBBQとサービングが楽しかった
- チームで力を合わせてプログラムに取組んだこと
- 朝、ラジオ体操をしたこと
- いろいろな動物の散歩や馬小屋の掃除をしたこと
- シュノーケリングで魚をいっぱい見たこと
- 友達と協力してマスをつかんだこと
- 豚汁を作ったこと
- 初めてフィンを付けて潜ったのが楽しかった
- いろいろな動物と触れ合えたり、クイズが面白かった
- ブルーベリー摘みが美味しくて楽しかった
- ホテルの人にいろいろ教わって勉強になった



指導者の思い出(参加者アンケートより抜粋)

★ 指導者と交流できましたか？

- 1: たくさんできた 70%
- 2: できた 22%
- 3: 普通 8%



★ 指導者との思い出はなんですか？

- いろいろな話をしてくれたり、アドバイスをくれたこと
- 移動中に励ましてくれたこと
- 始めてあった人たちだけで、いろいろな話ができた
- キャンプファイヤーのスタンプを一緒にやったこと
- ジャムを交換して味見をしたこと
- 夜一緒に水浴びをしたこと
- グループビルドの時に、たくさん声をかけてもらったこと
- 馬の散歩のときに、助けてくれたこと
- 焼きそばをおいしく作ってくれたこと
- 一緒に野球をしたり、歴史を教えてもらったこと
- 一緒に鬼ごっこをしたこと
- 一緒にお風呂に入ったこと
- 朝食作りを手伝ってくれて、一緒に食べたこと



保護者の声(参加者アンケートより抜粋)

★ 「あれこれ体験 in 片浦」にお子様に参加してみてもいいかでしたか？

- 1: 非常によかった 71%
- 2: よかった 29%
- 3: 普通 0%
- 4: あまりよくなかった 0%
- 5: よくなかった 0%

【あれこれ体験 in 片浦に参加する前と後での変化の様子を聞かせてください】

- 初めて会った友達と仲良くなって、友達作りに自信ができたようです。
- 一人での参加で不安でしたが、車で友達や指導者と会話しているのを見て、「楽しかったんだなあ」と思いました。修学旅行と違い他校の児童と交わるいい機会だと思います。
- 初めての参加で緊張している様子でしたが、帰ってきたら楽しかった話をしてくれて、こういう緊張感が良い経験になったと思えました。
- 新しい友達を作ったりするのが苦手だったけど、積極的に声をかけたりがんばってきたようで、うれしそうに話をしてくれました。
- 大きな変化はありませんが、家の手伝いをする頻度が増えたように感じます。経験が自信になっているといいなと感じました
- 去年はハズしてしまいましたが、今回は参加できて喜んでいました。行く前は心配があったみたいですが、迎えにいったとき笑顔が輝いていました。話す前から充実した体験だったのが伝わってきました。家に帰ってからお手伝いも前よりしてくれるようになったと思います。
- 「面倒くさい」といやいや参加したが、参加後は内容をたくさん話をしてくれて、楽しかったと言っていました
- 親元を離れ、三日間過ごせたことで自信がついたようです。普段接しない子達ともすぐに仲良くなれたようで、来年からの中学生活に対し自信をつけたようです。
- すごく楽しかったと笑顔で帰ってきたので、参加させて本当に良かったと思います。

【ご意見、ご感想についてお聞かせください】

- 引率の指導者が親切で話しやすく楽しかったそうです。親としても上手にコミュニケーションが取れるか心配でしたが、よい友達にも恵まれて安心しました。私も小学生だったら参加したいと思えました。
- 普段できない体験を知らない人たちと協力して行うことで自信に繋がると思うので続けて欲しいと思います。
- 市内の施設で自然とふれあいながら仲間と過ごせることはとてもいい体験だと思います。
- 家族の前では甘えてしまうことが多いのですが、同世代の友達や大人の中で自分は今どうすればいいのかを考えるよい機会になったと思います。
- 自分、仲間と考えて物事をする経験ができ、また校外の友達をできたようです。最終日のプレゼンテーションも達成感があったようです。
- 親の私が参加したいと思うほど魅力的な内容で、子供は幸せだと思います。来年も行きたいと言っていた言葉に3日間の感想が詰まっていると感じました。
- 中高生になったときに、ボランティア募集があれば、世話役として恩返しできるのではないかと思います。
- 自然豊かな小田原で体験学習キャンプに参加できてよかったと思っています。ありがとうございました。
- 来年は中学生になるので、中学生向けプログラムもあればいいと思います。

ヒルトン小田原リゾート&スパ
 電話:0465-29-1000
 住所:根府川583-1
 <サービング体験>
 <入浴>
 <夕食:ヒルトンディナー>



旧片浦中学校
 電話:0465-29-0134
 住所:根府川41
 <活動拠点>
 <宿泊:テント泊>



なみのこ村
 電話:0465-29-0841
 住所:根府川161
 <昼食:バーベキュー>



根府川ダイビングセンター
 電話:0465-29-0929
 住所:根府川161
 <シュノーケリング体験>



おでかけMAP
 片浦・小田原
 "Odekake" MAP→Kataura, Odawara



きのこ苑お山のたいしょう
 電話:0465-29-1393
 住所:根府川657

<ブルーベリージャム作り体験>
 <昼食:バーベキュー>



広石農園
 電話:0465-22-8606
 住所:根府川389
 <ブルーベリー摘み取り体験>



白糸マス釣りセンター
 電話:0465-29-0769
 住所:根府川483
 <マスのつかみ取り体験>
 <昼食:バーベキュー>



サドルバック
 電話:0465-29-0830
 住所:江之浦415
 <乗馬体験一式>
 <昼食:流しラーメン>



「あれこれ体験 in 片浦」にこ
 協力いただいた施設です。ご家
 族でも楽しめるプログラムもあ
 りますので、ぜひおでかけくだ
 さい。

※<>内記載は、『あれこれ体験 in 片浦』で実施したプログラムです。



Odawara Outfitters
Training School
OOT'S
Since 2010



Odawara Outfitters
Training School
OOT'S
Since 2010



Odawara Outfitters
Training School
OOT'S
Since 2010



Odawara Outfitters
Training School
OOT'S
Since 2010



Odawara Outfitters
Training School
OOT'S
Since 2010



伊豆箱根鉄道

Odawara Outfitters
Training School
OOT'S
Since 2010



Odawara Outfitters
Training School
OOT'S
Since 2010



一人でも多くの子もたちに体験学習を！

小田原を愛する心と生きる力を育む！

指導者養成研修事業

地域・世代を超えた体験学習事業

おだわら自然楽校 (Odawara Outfitters Training School)

あれこれ体験 in 片浦

小田原市では、地域や学校における体験学習、或いは子どもたちの居場所づくりなどといった青少年育成事業に積極的に参画できる指導者を養成するための研修事業「おだわら自然楽校 (OOT'S)」を平成 22 年度にスタートしました。

「あれこれ体験 in 片浦」では「おだわら自然楽校 (OOT'S)」で学んだ指導者の協力をいただき、実行委員会組織を立ち上げ、プログラムの企画から進行までを行っています。地域を超え参加した子どもたちは、指導者との世代を超えた触れ合いの中で、多くの事を学び、たくさんの思い出を作り、生きる力を育てています。

研修では、コミュニケーション能力やチームワークの活性化スキル、野外炊事やキャンプファイヤー等のキャンプスキルやアウトドアスキル、子どもたちの安全管理 (リスクマネジメント)、様々な体験学習プログラムなど、幅広い年代の方がたくさんの方の知識と技術の習得を図っています。

子どもたちが健やかに、そして力強く成長していくことを願い、学校や地域などが行う体験学習へのサポートをこれからも続けていきます。青少年育成や体験学習活動に興味のある方は、「おだわら自然楽校 (OOT'S)」にご参加ください。指導者として一緒に活動していきましょう。

あれこれ体験 in 片浦

おだわら自然楽校

検索

Presented by 地域・世代を超えた体験学習実行委員会

小田原市子ども青少年部青少年課